

副議長選挙に係る所信表明

川島要議員

このたび焼津市議会副議長選挙に立候補いたしました川島要です。

先ずは、こうして所信を表明する場をいただきましたことに感謝を申し上げ、所信表明させていただきます。

議会における副議長の職務は、議会の運営において議長の重要なサポート役であり、議会活動を支える存在であると考えています。私はこれまでの議員経験で培った知識と、市民相談等から学んださまざまな体験をふまえ、副議長の職に誠心誠意取り組んでまいります。

いま社会は人口減少、少子・高齢化の進展により、さまざまな分野における担い手不足、また物価高騰による諸課題からの不安や影響も含め、大きく変化していく社会環境の中で、市民の暮らしや地域経済を守る手立ての具体化が求められています。焼津市ではこうした諸課題への対応と共に、今後の市の発展を支えるために総合計画や、みらい総合戦略において、さまざまな政策を立案し計画的に事業を進めています。

そこで先ず、私たち議員は選挙によって市民からの大切な負託を受け、市政運営のチェック機能を果たす重要な役目をいただいております。多様な議案の本質を議会での議論を通じて決議し、さらにその執行を監視するという大きな責任を持つのが議会であります。そしてその代表者である議長をお支えすることに全身全霊で取り組んでいく所存です。

第二に、議会は市民の意見を反映させ、地域の課題解決に向けた議論をするという大切な場であります。議員お一人お一人が真摯に意見を述べ、公正で公平に議論ができるよう秩序を守って円滑に進行する議会としての環境づくりを前進させてまいります。

第三に、市民に開かれた議会へとさらに前進をさせたいと思います。焼津市議会では、令和6年度からのこの2年間で、市内にある4つの高校の生徒代表の皆様と「議会報告会・意見交換会」を開催いたしました。それぞれの高校の個性の違いはあれ、焼津市の将来を担う若者たちから、現状の課題や将来への不安と期待・要望など、率直で貴重なご意見を伺うことができました。

議会が果たすべきは、市民の不安を和らげ、誰一人取り残さない焼津市を目指して市と議論を尽くし、有効な施策を実現していくことでもあります。そのためにも市民の皆様がこれまで以上に市議会に関心を持っていただき、議員との意見交換ができる環境づくりも必要であります。これまで開催してきた「議会報告会・意見交換会」の充実や、さらなる対話の場づくりの検討などにも積極的に取り組んでまいりたいと思います。

市民の皆様からのご意見を伺いながら、これからも住み続けたいまち「焼津」が、さらに活力あるまちとして発展し続けられるよう、議会として出来る限り取り組んでいく所存です。

結びに、私自身、副議長として議長を支え円滑な議会運営に尽力ができますようにこれまで以上に精進と研鑽を重ねてまいります。

どうぞ皆様のご理解とご支援を私（川島かなめ）に賜りますよう、お願い申し上げます。所信表明とさせていただきます。有り難うございました。